

令和7年度 第2回朝霞市博物館協議会次第

日 時 令和8年2月4日(水)
午後2時00分～
場 所 朝霞市博物館 講座室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- (1) 令和7年度事業報告
- (2) 令和8年度事業計画
- (3) その他

4 閉 会

令和7年度 第2回博物館協議会 資 料

日 時 令和8年2月4日(水) 午後2時00分

会 場 朝霞市博物館 講座室

(1) 令和 7 年度事業報告

令和7年度(2024年度)博物館事業報告
令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日

令和7年12月31日現在

1 令和7年度 利用統計

年度	開館日数	入館・利用者数 (団体含む)	学校団体		一般団体	
			団体数	人数	団体数	人数
令和7年度	219日	20,981人	4団体	145人	101団体	1,078人
令和6年度	290日	25,118人	26団体	2,303人	99団体	1,016人
平成8年～令和5年度	7,334日	1,207,350人	938団体	69,910人	2,966団体	38,794人
合計	7,843日	1,253,449人	968団体	72,358人	3,166団体	40,888人

2 令和7年度 事業報告

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
考古分野 「遺跡が語る 朝霞」 歴史分野 「陸の道と 水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	-	【通年】	20,880人
常設展示	民俗分野「むかしのくらし」	-	【日程】 5月17日(土) ～8月31日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	7,488人
	美術・工芸分野「朝霞の美術・工芸」	-	【日程】 5月17日(土) ～8月31日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	7,488人
企画展	第38回企画展「根岸古墳群と内間木古墳群～朝霞の古墳時代～」	-	【日程】 3月8日(土) ～5月6日(火) ※前年度継続事業	4,117人 前年度1,817人 計5,934人
	第38回企画展 関連講演会 「埴輪から見た古墳時代の朝霞」	根岸、内間木古墳群の埴輪について紹介し、系統、地域性、生産体制、流通などの観点から解説する。	どなたでも	【日程】 4月20日(日)午後2時～3時30分 【講師】 立正大学博物館学芸員 大谷徹氏

文化財課 博物館

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計	
企画展	第38回企画展 関連体験教室 ①火おこしに挑戦!	①火おこしの歴史について学習した上で、木製発火具や火打石を使って火をおこす。	どなたでも(小学1・2年生以下は保護者同伴)	【日程】 4月27日(日)午前10時から 4月27日(日)午後2時から 4月29日(火・祝)午前10時から 4月29日(火・祝)午後2時から 計	24人 30人 33人 29人 116人
	②まが玉をつくらう!	②勾玉について学習した上で、ろう石を削り磨いて勾玉をつくる。	小学生(1・2年生は保護者同伴)	【日程】 5月3日(土)午前10時から 5月3日(土)午後2時から 計	31人 29人 60人
	第38回企画展 ギャラリートーク	担当学芸員が展示資料の解説を行った。	どなたでも	【日程】 5月6日(土)午後2時から(2回)	①約20人 ②約20人
	第39回企画展 「江戸時代の旅へ 川越街道膝折宿」	川越街道膝折宿を中心に、江戸時代の宿場機能と公用通行について紹介する。合わせて、庶民の旅文化について市域の資料から取り上げる。また、膝折の名主、問屋、本陣を勤めた家に伝来した古文書、絵図、関札、高札、襖絵など貴重な資料を初公開する。	-	【日程】 11月1日(土) ~12月14日(日)	4,103人
	第39回企画展 関連講演会 「和宮の降嫁と伊勢参宮(お伊勢参り)」	企画展に関連して「和宮の降嫁と伊勢参宮(お伊勢参り)」について講演会を行う。	どなたでも	【日程】 11月15日(土)午後1時30分~3時 【講師】 元埼玉県立文書館館長 杉山正司氏	42人
第39回企画展 関連講演会 「江戸時代の川越街道」	企画展に関連して「江戸時代の川越街道」について講演会を行う。	どなたでも	【日程】 12月6日(土)午後1時30分~3時 【講師】 近世史研究家 宮原一郎氏	60人	
テーマ展示	「朝霞市県展作品展」	第73回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	-	【日程】 9月13日(土) ~9月28日(日)	1,333人
	出品者内覧会	出品者による内覧会	出品者	【日程】 9月11日(水)	
	小学校3年生博物館 利用授業展示「昔の道具」	昭和30~40年代頃のくらしの風景や道具について、常設の民俗展示を拡充して紹介する。	-	【日程】 令和8年1月6日(火) ~令和8年3月29日(日)	
ギャラリートーク	「あさか発掘調査速報展-足元に眠る地域の記憶-」	令和6年度に実施した市内の発掘成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。	-	【日程】 7月13日(日) ~9月1日(月)	4,309人
	「描かれた弥生時代の船~中道・岡台遺跡~」	朝霞市岡所在の中道・岡台遺跡では、船が描かれた弥生土器破片が発見され注目されている。今回は、その土器破片とともに、中道・岡台遺跡の調査成果を写真パネルなどで紹介する。	-	【日程】 令和8年2月14日(土) ~令和8年3月29日(日)	

	事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
収蔵資料展示	「独楽」	独楽の歴史や地域に根付いた独楽などの紹介とともに、収蔵資料から独楽を展示する。	-	【日程】 4月26日(土) ～7月6日(日)	5,571人
	博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」	綿織り機や糸車をはじめとする体験用使用などにより、ワタから糸になるまでを紹介する。	-	【日程】 令和8年1月31日(土) ～令和8年3月29日(日)	
資料紹介展示	博物館実習生展示「博物館実習生から見た戦争資料」	博物館実習生2班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介した。 ※展示ケース2台による	-	【日程】 8月27日(水) ～9月7日(日)	985人
	「朝霞で見られる水の生き物」	綿織り機や糸車をはじめとする体験用使用などにより、ワタから糸になるまでを紹介する。	-	【日程】 4月1日(火) ～令和8年3月31日(火)	20,880人
生体展示	「博物館で生まれたカブトムシ」7月～8月	夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。	-	【日程】 7月8日(火) ～8月24日(日)	3,931人
講座	歴史講座 (連続3回)	江戸時代の朝霞地域の様子を、絵図を読み解きながら考える	どなたでも(市民優先)	【日程】 令和8年3月14日(土) 令和8年3月21日(土) 令和8年3月28日(土) 【講師】 近世史研究家 宮原一郎氏	定員各回40人 0人 0人 0人 計0人
	古文書講座 ～はじめての古文書～ (連続5回)	朝霞市内に残る古文書等を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	どなたでも(市民で初めての方優先) ※連続受講可能者	【日程】 令和8年2月7日(土) 令和8年2月14日(土) 令和8年2月21日(土) 令和8年3月1日(日) 令和8年3月8日(日) 【講師】 近世史研究家 宮原一郎氏 立正大学専任講師 栗原健一氏	定員各回36人 0人 0人 0人 0人 0人 計0人

文化財課 博物館

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計	
博物館体験教室	①「たたき独楽を回してみよう！」	日本の伝統文化に対し、興味と理解を育てるために、様々な地域の特色ある独楽を実際に回す体験教室を実施する。	どなたでも 【日程】5月5日(月・祝) 午後1時～午後3時30分 【講師】当館学芸員 岡田 貴哉	61人	
	②「はじめての篆刻」	篆刻を通じ、字形の歴史を学ぶことを目的とし、彫刻刀で石を掘り、オリジナルの印鑑を作成する。	市内在住で18歳以上の方 【日程】9月22日(日) 午後1時30分～4時30分 【講師】日展準会員 読売書法会常任理事 岩村 節廬氏	定員 16人 12人	
	③「火おこしに挑戦！」	木製発火具等を使って火をおこす。考古学、ひいては郷土史への関心を喚起する。	どなたでも(小学生1・2年生以下は保護者同伴)	【日程】11月30日(日) ①午前10時～11時 ②午後2時～3時 【講師】当館学芸員 江原 順	定員 各回8組 8組 8組 計16組
	④「おりがみで干支を折ろう！」	年始という実施時期を鑑み、干支である「午」に因んで「うま」を折り紙で制作する。	小学5年生以上	【日程】1月17日(土) ①午前9時30分～11時30分 ②午後1時30分～3時30分 【講師】 日本折紙協会講師 本多秀子	定員 各回12人 0人 0人 計0人
	⑤「糸車で糸を紡ごう」	糸車を使って綿から糸を紡ぎ、綿の繊維を引き出し撚りかけ、巻き取るという糸を紡ぐ工程を学ぶ。		【日程】3月15日(日) ①午前10時～11時 ②午後1時30分～2時30分 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	定員 各回6組 ① 組 名 ② 組 名 合計 組
夏休み体験教室	①「まが玉をつくろう！」	ろう石を磨いて勾玉を作る。勾玉とは何かを学び、勾玉づくりの技術の一端を体験する。	小学生(1・2年生は保護者同伴)	【日程】8月6日(水) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員各回16人 16人 27人 計43人
	②「コースターをつくろう！」	身近な材料を使い、簡単な織機でコースターを織る。体験をとおして織物の原理を学ぶ。	小学生(1・2年生は保護者同伴)	【日程】8月10日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 専門技術者 菅井 美穂子氏	定員各回16人 17人 30人 計47人
	③「飛び出す！動く！しかけ絵」	夏の思い出をポップアップなどのしかけ絵にする。体験をとおして創造力とつくる力を育む。	小学生(1・2年生は保護者同伴)	【日程】8月17日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 専門技術者 村上 優枝氏	定員各回16人 19人 23人 計42人

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
博学連携事業	小学校3年生 博物館利用授業	市内小学校3年生	① 月 日() 小 C	0人
	博物館利用 検討委員会	市内小中学校教諭	【定例会兼研修会】 6月26日(木) 午後3時30分～4時30分 【主催】 博物館利用検討委員会	14人
	博物館学芸員実習	大学生	【日程】 8月19日(火) ～8月26日(火) (※7日間)	5大学 6人
調査	古文書調査	-	通年	-
	自然史資料調査	-	通年	-

3 刊行物・広報

刊行物・ 広報等	「朝霞市県展作品展」	ハガキ 300枚(令和7年9月10日発行) リーフレット 700枚(令和7年9月10日発行)
	第39回企画展 「江戸時代の旅へ 川越街道膝折宿」	展示図録 700部(令和7年10月31日発行) ポスター 500枚(令和7年10月14日発行) チラシ 12,000枚(令和7年10月14日発行)
	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行う。また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努める。	新聞社:3件 情報誌等:4件 広報あさか:毎月号 ホームページ:随時更新 メール配信サービス登録者:随時

4 その他

- (1)館内くん蒸による臨時休館
6月13日(金)～ 6月18日(水) 【5日間】
- (2)利用者アンケート 【令和7年12月31日現在】
開館日数: 219日
入館者数: 20,981人
アンケート回答数: 176人 (0.84%)

(2) 令和 8 年度事業計画

文化財課 博物館

令和8年度(2026年度)博物館事業計画 令和8年(2026年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日

令和7年12月31日現在

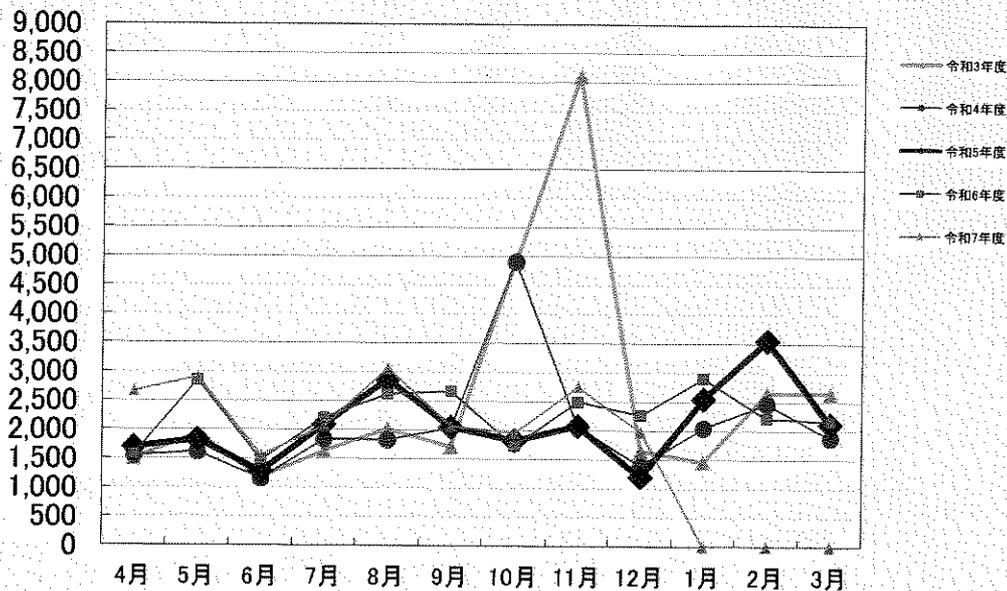
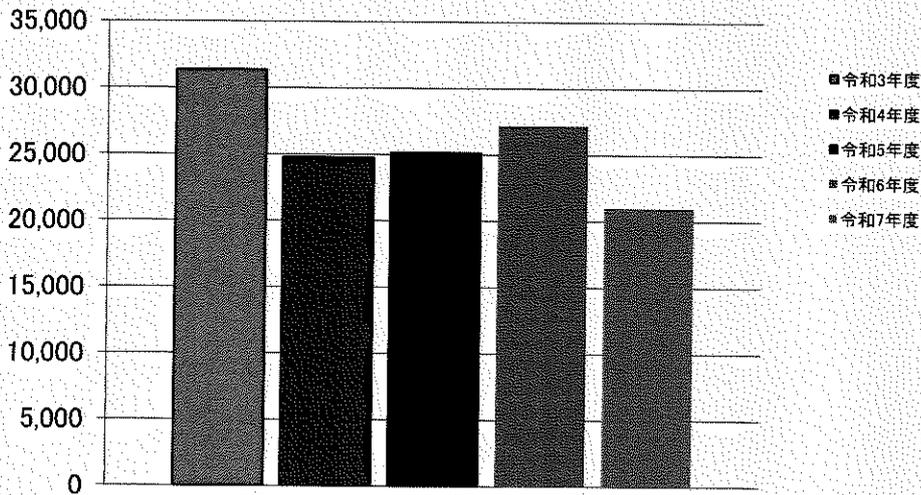
1 令和8年度事業計画

	事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・概要
常設展示	<考古分野> 「遺跡が語る朝霞」 <歴史分野> 「陸の道と水の道」 <民俗分野> 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	-	【通年】
	民俗分野 「むかしの暮らし」	昭和30～40年代頃の暮らしの風景や道具について紹介する。	-	【日程】 6月～8月 ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。	-	【日程】 6月～8月 ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替
企画展	第40回企画展 (仮称)卓球の歴史～日本卓球界の衰退と繁栄～	卓球は2026年で世界大会が初めて開催されてからちょうど100年となります。日本における卓球の衰退と繁栄について紹介します。	-	【日程】 令和8年10月3日(土)～11月15日(日) (予定)
	企画展関連講演会 初めての卓球講座	子供から大人まで誰もが気軽に楽しめる卓球をやってみませんか。ラリー20回を目標にやってみよう。	-	【日程】 未定 【講師】 未定
	企画展関連体験教室 卓球で回転をかけてみよう	ボールに回転をかけることで、対戦相手は返球が難しくなります。台の中でボールが戻ってくるように回転をかけてみよう。	-	【日程】 未定 【講師】 未定
テーマ展示	丸沼芸術の森コレクション その歩みと続く夢―創設40周年を記念して―	昭和60年(1985)から国際的アーティストの育成と本市の文化芸術の振興を目的に活動している丸沼芸術の森の誕生から未来への歩みについて紹介しながら、丸沼芸術の森が40年の間に集めた貴重な作品群を市民と共有し、これら作品を観覧する機会を提供することを目的に開催する。	-	【日程】 令和8年4月25日(土)～5月24日(日)
	朝霞市県展作品展	第74回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	-	【日程】9月(予定)
ギャラリー展示	あさか発掘調査速報展	令和7年度に実施した市内の発掘成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。	-	【日程】7月～8月(予定)
	冬のギャラリー展示	朝霞の歴史・民俗・美術に関わるテーマで、写真パネルを中心とした展示を行う。	-	【日程】2月～6月(予定)
収蔵資料紹介展示	「昔の道具」	「昔の道具」を展示する。	-	【日程】1月～3月(予定)

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・概要
歴史講座 (連続3回)	朝霞や周辺地域における郷土史について学習する。	一般	【日程】1月～3月(予定)
古文書講座 (連続5回)	朝霞市内等に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	一般	【日程】12月～2月 【講師】大学講師等
博物館体験教室 (全5回)	体験学習をとおして、郷土史や伝統文化への興味と理解を育てる。	各回ごとに設定	【日程】4月～3月 【講師】専門技術団体 当館学芸員等
夏休み体験教室 (全3回)	小学生を対象とした体験学習を行い、郷土の自然・歴史への関心を喚起するとともに、夏休み自由研究の一助とする。	小学生	【日程】7月～8月 【講師】専門技術団体 当館学芸員等
博学連携事業	小学校3年生 博物館利用授業	郷土学習を始める市内小学校3年生を対象に、調べ学習、体験学習などの博物館利用授業を行う。	市内小学校3年生 【3学期】 (学校の希望日)
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。	市内小中学校教諭 【定例会兼研修会】年1回 【主催】博物館利用検討委員会 【講師】当館学芸員
	博物館学芸員実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。	大学生 【日程】 8月
2 刊行物・広報			
刊行物・広報等	第40回企画展	展示図録 ポスター チラシ	
	ギャラリー展示	パンフレット	
3 その他 ○来館者に影響のある運営・施設管理予定 ・館内くん蒸(6月を予定・臨時休館を伴う)			

利用統計 令和3年度 ~ 令和7年度 (令和7年12月末現在)

年数	26			27			28			29			30		
	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
年度	開館日数	入館者数	平均入館者数												
4月	24	1,501	63	25	1,547	64	25	1,697	68	24	1,566	65	25	2,664	107
5月	25	1,918	77	24	1,614	67	25	1,827	73	27	2,849	106	26	2,897	111
6月	19	1,175	62	19	1,153	64	19	1,276	67	18	1,474	82	19	1,550	82
7月	27	1,633	60	26	1,838	71	25	2,091	84	25	2,206	88	26	2,069	80
8月	25	2,014	81	24	1,827	76	26	2,868	110	26	2,617	101	26	3,059	118
9月	25	1,710	68	26	2,038	78	26	2,049	79	25	2,669	107	24	2,065	86
10月	26	4,904	189	26	4,908	189	26	1,820	70	26	1,735	67	26	1,951	75
11月	24	8,103	338	24	2,071	86	25	2,077	83	25	2,496	100	26	2,748	106
12月	23	1,647	72	21	1,391	66	21	1,198	57	22	2,266	103	21	1,978	94
1月	22	1,459	66	22	2,046	93	22	2,549	116	22	2,906	132		0	
2月	22	2,643	120	23	2,462	107	25	3,549	142	22	2,211	101		0	
3月	26	2,644	102	25	1,879	75	25	2,117	85	25	2,167	87		0	
計	288	31,351	109	285	24,774	87	290	25,118	87	287	27,162	95	219	20,881	96



年間利用者アンケート集計表

月間来館者数 20,880 人 月間アンケート回答者数 176 人 (回答率 0.8%)
 開館日数 219 日

＜1. 性別＞

男性	女性	回答しない	計
83	83	10	176

＜1. 年齢＞

未就学児	小学生	中学生	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答	計
1	65	19	1	15	10	9	13	27	7	6	3	176

＜1. 住まい＞

＜市外内訳＞

朝霞市内	市外	未回答	計
94	60	22	176

＜1. 同行者＞

ひとり	家族	友人	団体	その他	未回答	計
63	75	32	3	1	2	176

＜2. 交通手段＞

歩き	自転車	自家用車	電車・バス	その他	未回答	計
49	41	62	21	2	1	176

＜3. 回数＞

初めて	2～5回	6～10回	11回以上	未回答	計
58	68	19	30	1	176

＜4. 印象＞

良かった	為になった	また来たい	あまり良くなかった	興味を引かれるものがなかった	その他	未回答	計
73	19	16	3	3	3	1	118

＜5. 来館目的＞複数回答可

展示見学	イベント参加	調査・研究	宿題・自由研究	仕事	休憩	その他	未回答	計
121	11	9	14	2	41	16	2	216

＜6. 利用時間＞

30分以内	30分～1時間	1～3時間	4時間以上	未回答	計
50	63	39	8	16	176

＜7. 情報源＞複数回答可

ポスター・ちらし	広報	HP	SNS	市からメール	新聞・情報誌	人から聞いた	学校から聞いた	その他	未回答	計
23	16	15	13	0	6	44	22	31	16	186

＜8. 対応＞

大変良い	良い	どちらとも言えない	あまり良くない	良くない	スタッフに会わなかった	未回答	計
59	38	13	0	1	52	13	176

展示期間初 展示期間終

＜11. 期間展示満足度 県展＞

9月13日 9月28日

とてもよかった	よかった	普通	あまりよくなかった	よくなかった	その他	未回答	計
4	1	0	0	0	0	0	5

年間利用者アンケート集計表

〈11. 期間展示満足度 企画展〉 11月1日 12月14日

とてもよかった	よかった	普通	あまりよくなかった	よくなかった	その他	未回答	計
11	7	1	1	1	0	3	24

個別意見

- ・館内が静かに綺麗でとても大満足しています。朝霞の歴史を学んでいます、とても良い企画です、ありがとうございました。(50代女性)
- ・ゲームもあって楽しかったです(小学女児)
- ・子どもが分かり易いようにゲームや書き方の工夫をされていて良かったです(小学女児)
- ・綺麗で分かり易く積極的な活動をされているなど感じました(20代男性)
- ・物が色々変わったりするから、いろんな事がわかって楽しかったです(小学女児)
- ・昔の物が今とは何が違うか書く。色々なものがあった楽しかった(小学男児)
- ・「博物館まつり」など、もっと地域とのコミュニケーションの場を検討してほしい、地域住民とこの博物館の自治会などとの交流会をしてほしい
- ・無償で良いので博物館でのボランティア募集してほしい(定期・不定期など～)(70代男性)
- ・静かでとても良かったです。ほんの少し小さい子も楽しめる何かがあってもいいかな?(折紙とか)(女子中学生)
- ・体験型、機械仕掛けの展示が動いているのは素晴らしいことです(20代男性)
- ・朝霞にこんなに古墳があるの知りませんでした、いろいろからくりもあって楽しかったです。
- ・自分の住む町の歴史を知る事ができて良かったです、無料なものも良かったです(40代女性)
- ・体験学習室で催しがなく閉鎖されていたのが残念でした(40代男性)
- ・たくさん埴輪が見られて良かったです。帆立型の古墳を始めて知りました。また来ます、ありがとうございました(20代女性)
- ・説明文の字が難しくて読めないの、フリガナをふってほしい(60代男性)
- ・図書室が面白かった(小学女児)
- ・単に見学するだけでなく、パズルや水車の自動仕掛けなど子供が飽きずに見学することができました。
- ・大人は100円からの有料でも良いと思った(40代女性)
- ・維持費がもったいない(60代男性)
- ・勉強できる所があり宿題や受験勉強などはかどる場所だと思います。無料で貴重な展示品などを見学できるのもいいなって思いました。
- ・水車が動くのはとても驚きました(30代女性)
- ・楽しかった、また来たいと思う。動物などがいるのもいいと思う。動いたりする展示物が面白い(小学女児)
- ・準備期間(展示物)が長く感じた。改善してほしい。(小学男児)
- ・もっとアピールしたら良いのでは。ここにあることを知らない人がたくさんいると思います。予算があれば博物館回りに木や花を植えるとか、
- ・入口がわかりにくいし、入りづらい(60代女性)
- ・展示室までの通路に掲示されたポスターの列は、見ているだけで知的好奇心をくすぐられる。
- ・次に訪れた際にどのような企画展が列挙されるか楽しみです(40代男性)
- ・常設展の老朽化が目立ち残念に思った(映像機器の故障など)。リニューアルを進めていただきたい、
- ・休憩スペースが広めにあるのはとても良い(40代男性)